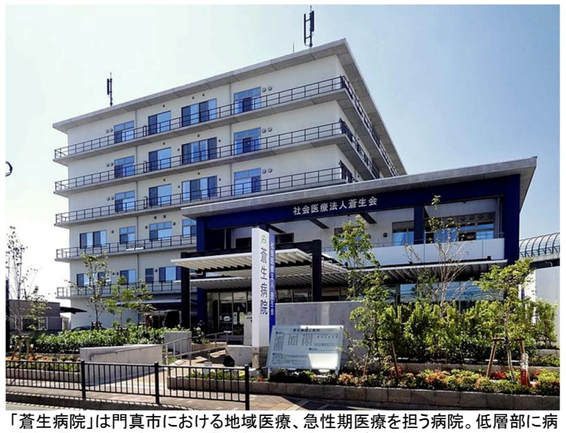
社会医療法人 蒼生会 蒼生病院　1/2

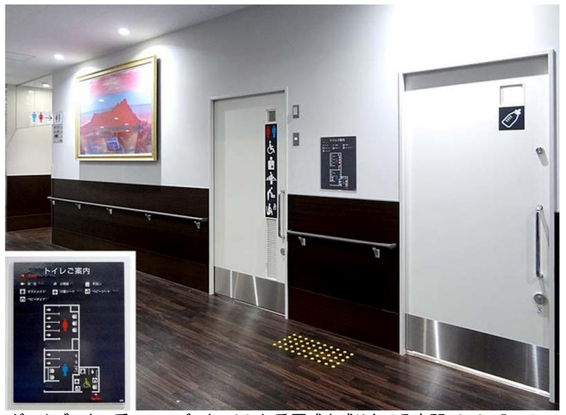
TOTO

外観



「蒼生病院」は門真市における地域医療、急性期医療を担う病院。低層部に病院のカラーである青を配し、高層部の白との対比が図られている。

1F 外来　トイレ入口



ダークブラウン系でコーディネートした重厚感を感じさせる空間。トイレ入口に触地図を掲示し、トイレ内部の設備を確認できるようにしている。トイレに隣接して授乳室を完備している。

1F 外来　授乳室

小さなお子様連れに配慮して、ソファや流し台を備えた授乳室を設置している。

1F　洗浄室

掃除口付きフチなしトルネード汚物流しを採用。ラクな姿勢で作業できる補高台を設置。一方、ポータブルトイレの汚物処理を使用目的としている別フロアでは補高台を設置せず、使用目的に合わせて選択。

1F 外来　女性トイレ　洗面コーナー

カウンターと洗面ボウルに継ぎ目がなく、清掃性に優れたボウル一体形カウンター（MLHC）を採用。

1F 外来　男性トイレ　大便器ブース

節水性が高く連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。

1F　スタッフ通路

清掃性に優れた壁掛フチなしトルネード汚物流しパックを設置。ボウルが半円形状のため、正面だけでなく、斜め方向からもアプローチできる。

2F 待合ホール　男女共用トイレ

用足しから手洗いまでブース内で行える個室完結型のトイレ。荷物配慮として、ひろびろとしたカウンター（レストルームドレッサー　システムシリーズ）を設けている。

1F 外来　男性トイレ　小便器コーナー

小さなお子様から大人まで使いやすく、小便器足元の掃除がしやすい低リップタイプの壁掛小便器。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。

1F 外来　多機能トイレ

車いす使用者やお子様連れ、オストメイトの方など、さまざまな使用者に対応できる設備を完備。大便器は、車いすのフットレストの干渉や床の清掃性に配慮して、壁掛便器を採用。

2F 待合ホール　車いす使用者トイレ

車いす使用者トイレは左右勝手違いで2ヶ所設置。車いすの動線を配慮して扇形のレイアウトにしている。また、大便器の便座面高さは、深く腰を下ろすことが困難な患者に配慮して、標準+50mmの高さに設定。

2F　リハビリテーション室

車いす対応洗面（MVHF）を設置。内1台は、左右両方からのアプローチ性に配慮して、建築のコーナー部にコーナータイプ（MVHK）を設置。また、車いす利用では両側に介助者が入るスペースを確保できる。

2018.02 作成　無断複製・転載禁止　（C）　TOTO. LTD. 2018 All Rights Reserved　28266

社会医療法人 蒼生会 蒼生病院　2/2

TOTO

3F 女子更衣前室　洗面コーナー

カウンターへの荷物置きに配慮して、水栓の取り付け位置をカウンターより低くしている水じまいがよいカウンター(MV45)を採用。

3F　あすなろ保育園

夜勤もあるスタッフの子育て支援として、24時間体制の保育施設を併設。幼児の使いやすさと安全に配慮した幼児用大便器を設置している。また、服を汚してしまった子のために、ユニットバスも設けている。

4～6F　談話・食事室

家族などと気兼ねなく会話ができる談話・食事室には、シンクやレンジを備えている。また、車いす使用者や介助者の使い勝手に配慮した車いす対応洗面(MVHG)を設置。

4～6F　洗濯室・シャワー室

サイズ違いのシャワー室を2ヶ所設置。(0812と1218サイズ)写真は介助者が一緒に入っても充分な広さの1218サイズ。シャワー室の向かいには洗濯機と洗濯流しを設置している。

4～6F 病棟　図面

トイレの配置は高齢者、入院患者の利便性を考慮し、分散型のレイアウト。

4～6F 病棟　4床室前トイレ

大便器の一部は、車いす使用者などに配慮して壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。小物置き、省スペース＝介助スペースの確保を同時に実現できるカウンター一体形コーナー洗面器(MLRB)を設置。

4～6F　洗髪室

洗髪室には、高齢者や車いす使用者にも配慮したボウル一体形カウンター(MLHC)を設置。ドライヤーで髪を乾かしたり身だしなみを整えることができ、病室でのドライヤーの使用による音などに配慮している。

4～6F　スタッフステーション

感染症対策として、スタッフの動線となるスタッフステーションの2ヶ所の出入口にそれぞれスタッフ用手洗器を設置。

4～6F 病棟　4床室　洗面

車いす使用者がアプローチしやすい形状のボウル一体形カウンター(MLHC)。お湯が使えるように小型電気温水器を備えており、冬も快適。

4～6F 1床室（特別個室）

トイレ・洗面・シャワー室・脱衣室・ミニキッチンを設けた特別個室。トイレは、水たまり時間が短く、静音性が高いパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。

建築概要

名　　称	社会医療法人 蒼生会 蒼生病院
所 在 地	大阪府門真市大字横地596番地
施　　主	社会医療法人 蒼生会 蒼生病院
設　　計	有限会社修景社設計工房
施　　工	株式会社淺沼組
規　　模	地上6階・150床
竣工年月	2017年6月

水まわりの特長

＜建物の特徴＞

「蒼生病院」は門真市における地域医療、急性期医療を担う病院。平成29年、建物の老朽化・耐震性への対応を契機とし、同敷地内の南側に新病院を建設。外観の特徴は、メインエントランスのガラス窓と緑地帯が外部からの視線をコントロールしつつ、内外の良好な関係を形成していることである。内部の特徴は、患者の利用頻度が高い、総合受付～一般外来部門、売店、トイレ、エレベーターを一直線に配置することにより、初めての来院の際にもわかりやすい動線計画となっている点である。4～6階は、廊下の突き当たり、談話スペースなどの要所に設けられた窓により、開放的で明るい病院。

＜水まわりの特長＞

トイレの配置は高齢者、入院患者の利便性を考慮し、分散型のレイアウト。壁掛便器の便座面高さは標準+50mmの高さに設定し、下肢整形の術後で、深く腰を下ろすことが困難な患者の自立利用に配慮している。病棟部の個別トイレは、「カウンター一体形コーナー洗面器」を採用し、小物置きカウンターを設けながらも、省スペースとし、介助スペースの確保を実現。スタッフ用の手洗いは、無理のない姿勢で手を洗えるよう標準+100mm(あふれ面高さ850mm)の高さに設置。特に利用頻度が高い部分については「スタッフ用手洗器」を採用し、腰の負担軽減と衛生面の向上に配慮されている。

2018.02 作成　無断複製・転載禁止　(C) TOTO. LTD. 2018 All Rights Reserved　28266